

「心のノート」改訂作業部会(第2回)において提案された読み物資料等の素材の例(中学校)【未定稿】

	内容項目の概要	エピソードの概要やねらい	形式	人物名	基本的考え方で重視することとしている項目															
					名言	偉人	伝統文化	生命尊重	人間関係	礼	振る舞い方	食育	市民性	法教育	情報モラル	職業観	家庭連携			
1 主として自分自身に関すること	(1) 生活習慣 節度節制	栄養学者香川綾のコラムとカント・貝原益軒・フランク等の名言で望ましい生活習慣を身に付けることの大切さを自覚する。	格言+格言コラム	香川綾・カント 貝原益軒・フランク	○	○		○				○	○							
	(2) 希望と勇気 強い意志	「少年よ、大志をいだけ」を紹介し、将来に向けて大きな夢をもつ一方、他方で具体的な目標をもつことの大切さを自覚する。 女性の高等教育への道を切り拓いた津田梅子の生き方を通して、希望と勇気をもって高い目標を目指しやり抜く強い意志をもつことの大切さを自覚する。	格言コラム 先人紹介コラム	クラーク博士 津田梅子	○	○														
	(3) 自律の精神 誠実	誠実に実行しその結果に責任をもとうとする道徳的判斷力を培う内容の読み物資料。						○		○	○	○			○					
	(4) 真理真実 理想の実現	50歳から日本の地図を作成した伊能忠敬の生き方から真理を愛し真実を求め自己の人生を切り拓いていくことの大切さを自覚する。	格言コラム	伊能忠敬	○	○														
		湯川秀樹博士の生き方から、真理を愛し真実を求め自己の人生を切り拓いていくことの大切さを自覚する。 ベートーヴェンの様々な苦難を乗り越えていく姿から、真理を愛し真実を求め理想の実現を目指して生きようとする道徳的実践意欲を育てる。	先人紹介コラム 読み物資料	湯川秀樹 ベートーヴェン	○	○							○							
(5) 自己の向上 個性を伸ばして	「初心忘るべからず」という世阿弥の言葉から自己を見つめ自己の向上を図ることの大切さを自覚する。	格言+格言コラム	世阿弥	○	○	○														
2 主として他の人との関わりに関すること	(1) 礼儀	江戸思草のコラムで公共マナーの大切さを、新渡戸稲造の名言で礼儀の大切さを自覚する。	格言+コラム	新渡戸稲造	○	○	○		○	○	○			○						
	(2) 人間愛の精神 思いやり	「貧しい人々のために献身的に尽くしたマザーテレサの生き方を通して、温かい人間愛の大切さを自覚する。	先人紹介コラム	マザーテレサ	○	○		○	○											
	(3) 友情 信頼	ゲーテ、ラ・ロシュフコー、ジョージ・ワシントン、ロマン・ロラン、キケロの名言を通して、お互いを高め合える友情について考える。	格言	ゲーテ ワシントン 等	○	○			○											
	(4) 異性についての 正しい理解	紫式部・夏目漱石・倉田百三・ゲーテ・福沢諭吉・野上弥生子・ヴェイユ等の言葉から、異性について正しい理解を深め相手の人格を尊重することの大切さを自覚する。	格言+格言コラム	紫式部・夏目漱石 倉田百三・ゲーテ 福沢諭吉 野上弥生子 ヴェイユ 等	○	○			○											
	(5) 寛容の心 謙虚	『論語』から孔子の「君子は和して同ぜず」や「可もなし不可もなし」の言葉やエピソードを通して、個性を尊重し寛容の心をもち謙虚に他に学ぶことの大切さを自覚する。	格言+格言コラム	孔子	○	○			○											
	(6) 感謝	鈴木大拙、西田幾多郎、新渡戸稲造などの言葉から、多くの人々の善意や支えにより日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにこたえることの大切さを自覚する。	格言+格言コラム	鈴木大拙 西田幾多郎 新渡戸稲造							○									
3 主として自然や環境との関わりに関すること	(1) 自他の生命を尊重	病弱な広瀬淡窓が医師の助言によって生き方を変えたことを知り、かけがえのない生命を精一杯生きようとする道徳的実践意欲を培う。	読み物資料	広瀬淡窓							○									
	(2) 自然を愛護 畏敬の念	環境保護の先駆者・大博物学者熊楠の生き方から、自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。	先人紹介コラム	南方熊楠							○									
	(3) 人間として生きる喜び	『アンネの日記』から、人間の弱さや醜さを克服する強さや気高さを自覚する。	格言+格言コラム	アンネ・フランク 坂口安吾 手塚治虫・王陽明 等	○	○														
4 主として集団や社会との関わりに関すること	(1) 法やまじりの意義 自他の権利 義務 社会の秩序と規律	福沢諭吉の「ひびのおしへ」と会津藩士の心構えを定めた「仕の掟」から、どの時代にも共通の規範があったことを理解する。	格言	福沢諭吉 等	○	○	○		○	○	○			○	○					
	(2) 公德心 社会連帯	富の個人的な独占を否定し公益を重んじ人々の幸福のために尽くした生き方から、公德心と社会連帯の大切さを自覚する。	先人紹介コラム	渋沢栄一							○				○				○	
		知的障害のある子どもたちのための教育に取り組んだ石井筆子の困難にも諦めない姿から、よりよい社会の実現に努めようとする道徳的実践意欲を育てる。	読み物資料	石井筆子								○				○				○
	(3) 正義 公正、公平	「善きことはカタツムリの速度で動く」等の言葉とインドを独立に導き非暴力によって世界を変えたガンジーのエピソードを通して正義を重んじ差別的ない社会の実現に努めることの大切さを自覚する。	格言+小コラム	ガンジー	○	○									○	○				
	(4) 役割と責任を自覚 集団生活の向上	種痘の普及やコレラの治療に当たったの献身的なエピソードから、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努めることの大切さを自覚する。	先人紹介コラム	緒方洪庵							○	○			○				○	
	(5) 勤労の尊さ 奉仕の精神 公共の福祉と社会の発展	アフリカの医療のために尽くしたシュヴァイツァー博士の生き方から、公共の福祉のための奉仕の精神の大切さを自覚する。	先人紹介コラム	シュヴァイツァー	○	○					○									○
		国木田独歩の『日の出』と内村鑑三の『後世への最大遺物』の言葉を紹介し、勤労の意義を自覚させる。	格言	国木田独歩 内村鑑三	○	○														○
	(6) 家族の一員としての自覚	貧しさから読み書きができなかった野口英世の母シカが、英世にあてて帰国を熱望し送った手紙を通して、家族へ敬愛の念をもつことの大切さを自覚する。	先人紹介コラム	野口シカ・英世							○								○	
	(7) 教師や学校の人々に敬愛 よりよい校風	卒業式ソング「旅立ちの日に」を通して、教師や学校の人々に敬愛の念を深める。									○									
	(8) 郷土の発展	「自治ができる人をつくろう」・自治三決を説き、衛生と防衛に務めた後藤新平のエピソード、犀星や露風の詩や石川啄木の短歌などを通して、郷土を愛し郷土の発展に努めることの大切さを自覚する。	詩等	後藤新平・室生犀星 石川啄木・三木露風							○	○								
(9) 国家の発展 伝統の継承 新しい文化の創造	優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献することの大切さを自覚する。	先人紹介コラム	千利休							○	○									
(10) 国際的視野 世界の平和と人類の幸福	エルトゥール号遭難の際に樫野の人々が示した献身的行為を知り、国際的視野に立って同じ人間として尊重し合おうとする道徳的心情を育てる。	読み物資料	樫野の人々								○	○								
	東京へのオリンピック招致による世界文化の創造を目指した嘉納の思いを理解し、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする道徳的心情を育てる。	読み物資料	嘉納治五郎								○						○			

※「内容項目の概要」は、中学校学習指導要領に示されている道徳の内容を短い言葉にまとめたものです。

※本資料に記載している人物・題材等については、今後検討を進めていく過程で学年段階間の調整を行ったり変更したりする可能性があります。